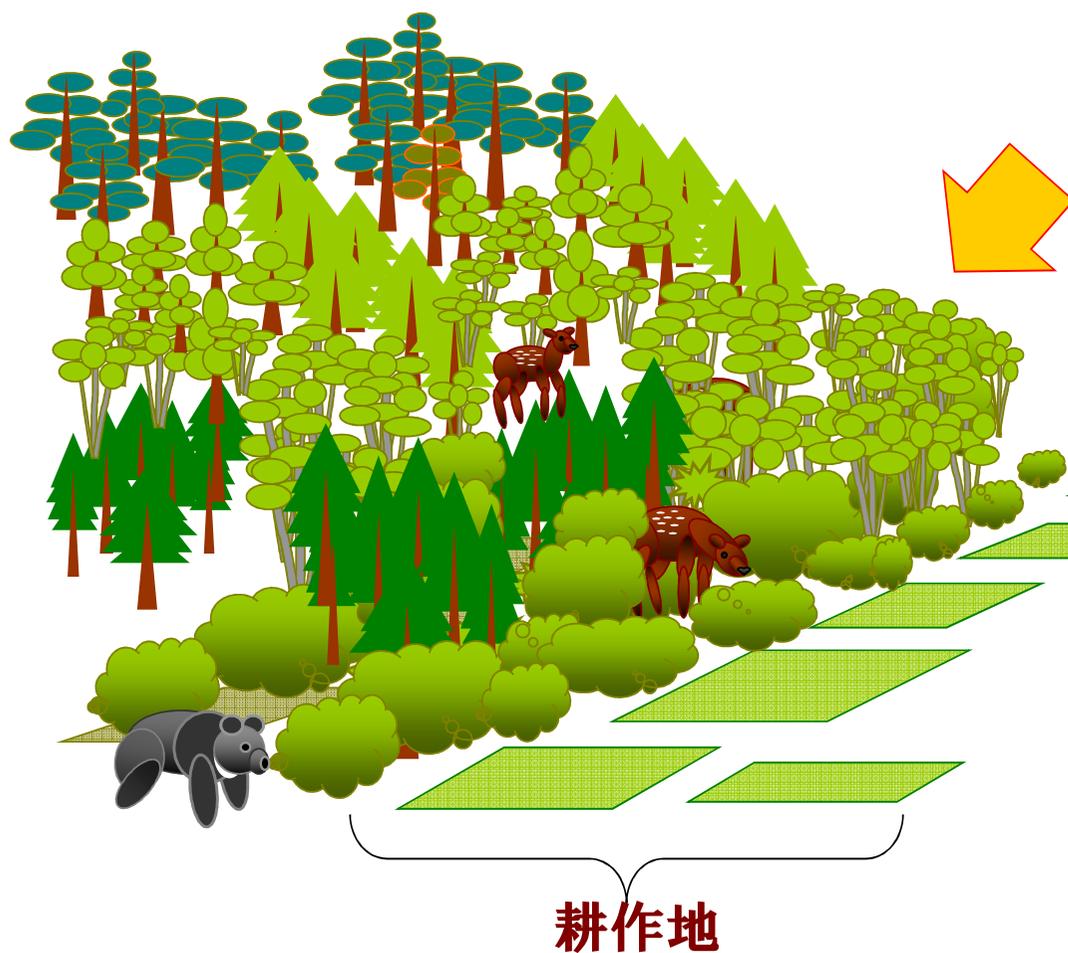


野生動物と集落を分ける緩衝帯

集落周辺の手入れが
十分進まない里山は、
野生動物にとって**格好**
の**隠れ場所**や**えさ場**を
提供しています。

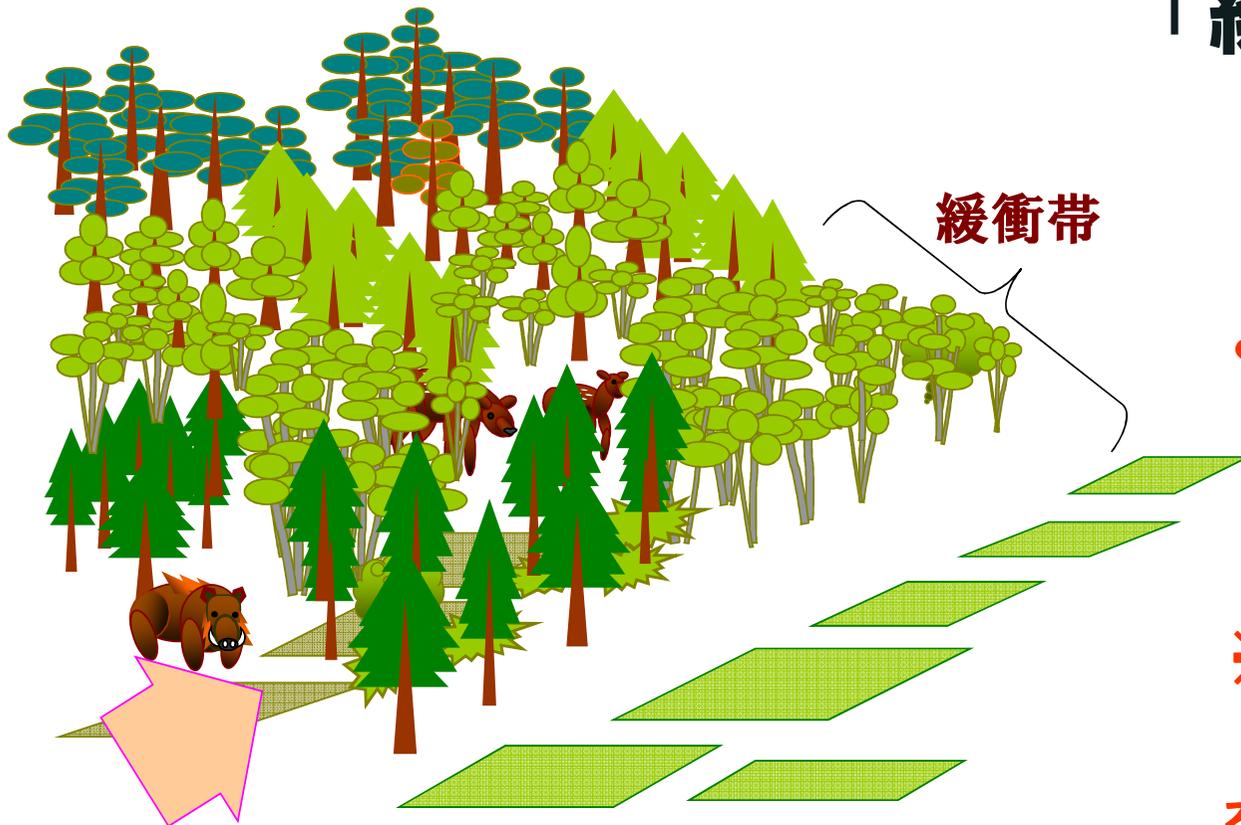
そして 人間の生活圏のすぐそばまで、野生動物の接近を許すことになります。



耕作地

野生動物と集落を分ける緩衝帯

「緩衝帯」は、
「心理的な障壁」



人の力(森林整備
[間伐、藪払い])

野生動物にとって、

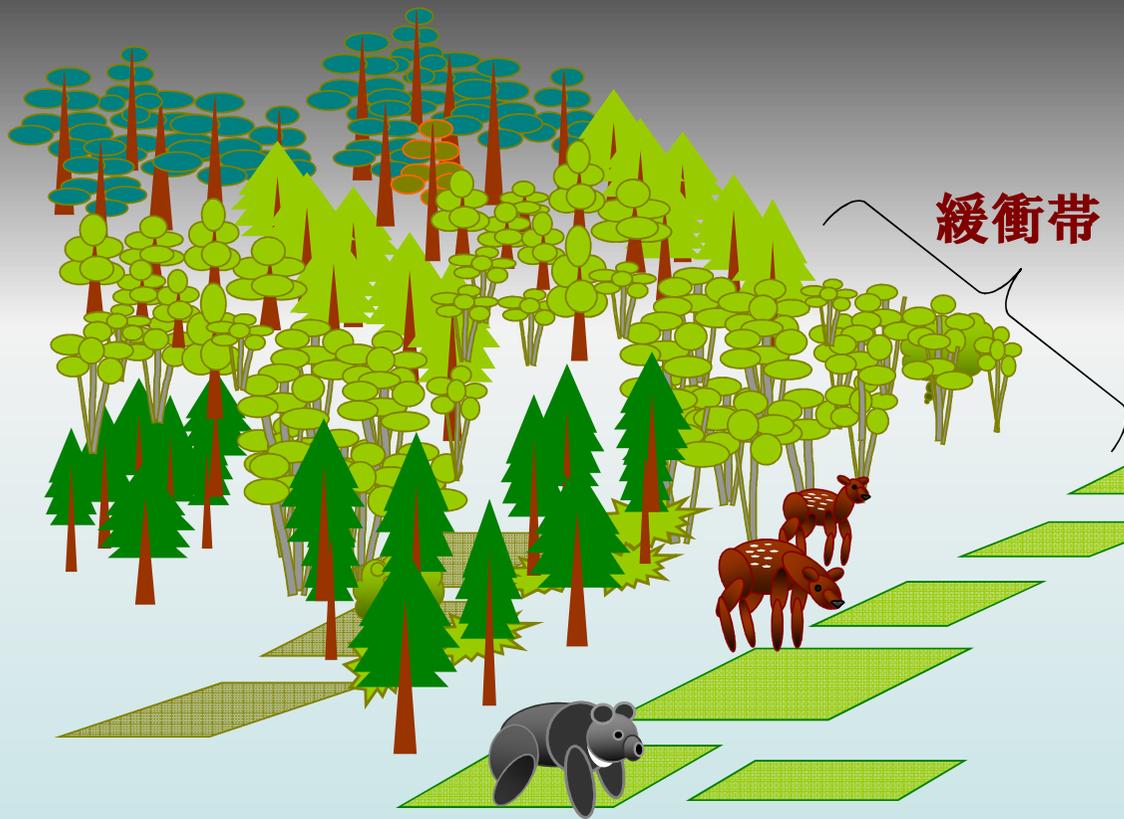
- 「近づきにくい」
- 「使いにくい」

環境をつくりだすこと

※ ただし…

緩衝帯は、一時的に野生動物を遠ざけるだけで、侵入を防止することはできません。

「緩衝帯」は、 「心理的な障壁」



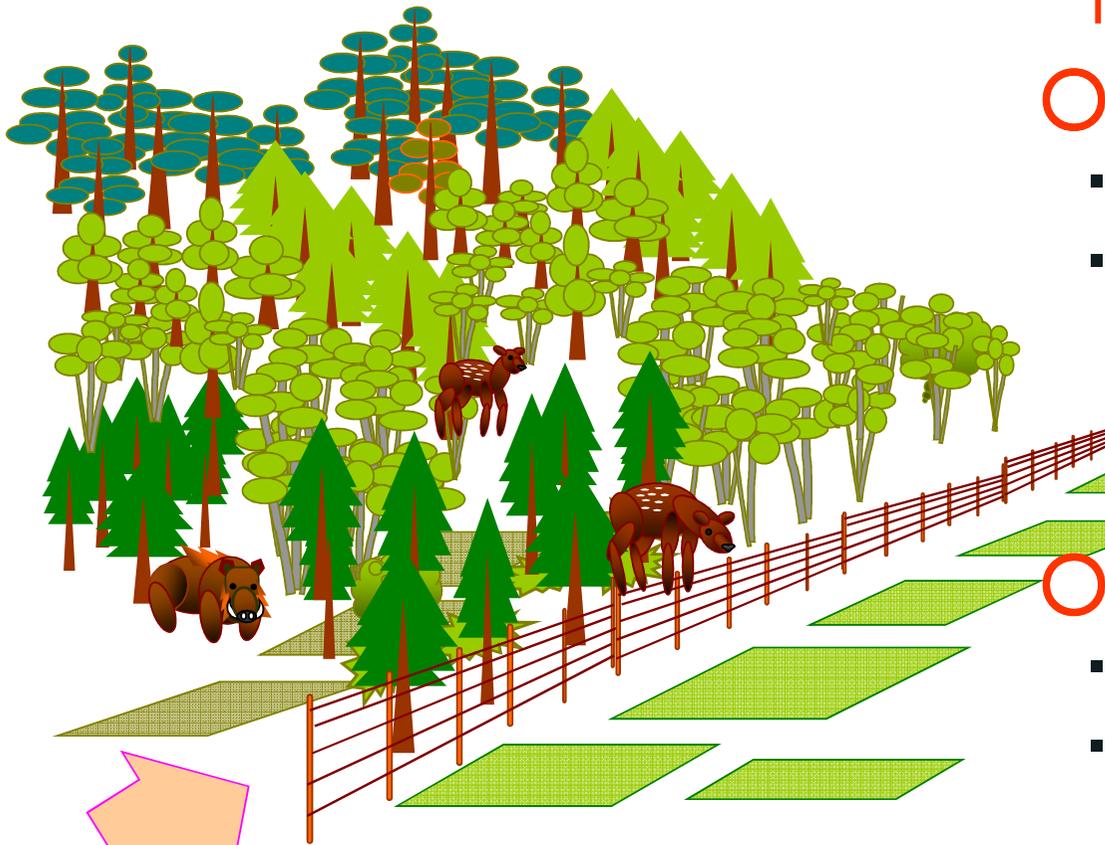
※ ただし…
緩衝帯は、一時的に野生動物
を遠ざけるだけで、侵入を防止
することはできません。

人気のない夜などは効果ありません

緩衝帯は防護対策と併せて実施

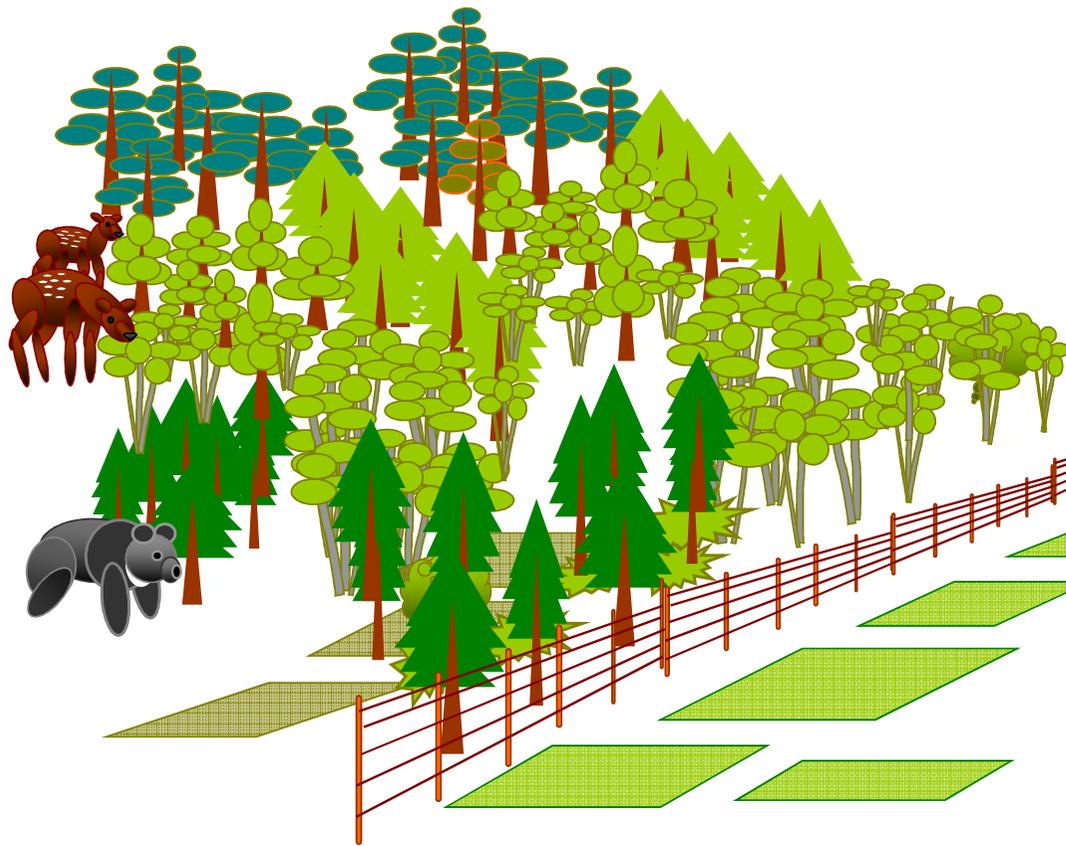
「緩衝帯」の機能と効果

- **野生動物を遠ざける**
 - 隠れ場所をなくす
 - 餌となる植物等を除去
(その場所を利用する理由がなくなる。)
- **人が利用しやすくなる**
 - 防護柵の設置や管理
 - サルなどに対しては、人間が追い払うための立入が容易に



侵入防止は、防護柵で行います。

野生動物と集落を分ける緩衝帯



その効果と機能を
持続させる

物理的な障壁である侵入防止柵
などの設置と併せ、継続的な
人の関与が必要です。

野生動物にとって使いにくい
環境であり続けるために。